

よくあるご質問

2014. 11. 6 現在

1. 選抜日程について

- ① 10月出願の場合、2期制の高校では高校3年生の成績が出せないが、どうすればよいか。

【教育学部】出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出していただき、期末試験まで入った高校3年生前期の成績を11月1日までに提出していただくようお願いいたします。なお、この変更に伴い、第1次選考合格発表日を10月30日から11月6日に変更する予定です。

【理学部】2学期制高校は、学業活動報告書及び学びの報告書のみ10月5～9日の出願期間に提出し、調査書は高校3年生前期の成績を11月1日までに提出していただくようお願いいたします。なお、この変更に伴い、第1次選考合格発表日を10月30日から11月6日に変更する予定です。

【医学部人間健康科学科】すべての高等学校を同じ基準で判断するため、高校2年生までの成績を提出していただくようお願いいたします。

【薬学部】出願期間を11月2～6日に変更する予定です。

- ② 12月出願の場合、定期試験と重なり満足できる書類作成ができないので、変更してほしいが可能か。

12月に出席期間を設定していました文学部、経済学部、農学部は、出席期間を11月2～6日に変更する予定です。

- ③ 医学部医学科の最終合格発表日がわかりにくい。

医学部医学科は大学入試センター試験を利用しないので、最終合格発表日は1月13日です。選抜要項の改訂版にはわかりやすい表記にする予定です。

- ④ 文・経・農学部では、第1次選考合格発表から第2次選考まで間1日しかない。雪の多い地域では、飛行機の欠航やJRの遅延等が考えられる。間に合わない可能性があるため、1日でも余裕を持たせてほしい。

採点にじっくり時間をかけたいので、ご理解いただきたく思います。少しでも余裕ができるよう5日午後に第2次選考を実施する予定です。

2. 出願（推薦）要件について

- ① TOEFL-iBT の代わりに、同様の外部試験を利用できないか。

英語能力試験は複数存在し、各試験を比較する換算式もありますが、入試の公平性を第一義と考えて、1つの能力試験に限定することにしました。種々の英語能力試験を比較し、スコアの信頼性、グローバルな評価などを鑑み、TOEFL-iBT に限定します。

- ② TOEFL-iBT の最低点を1点でも下回っては出願できないか。

出願（推薦）要件を「以上」としているため、未満の場合は出願できません。

- ③ TOEFL-iBT は総合点でみるのか。

出願（推薦）要件の TOEFL-iBT スコアは、総合点で判断します。

- ④ 学部間の併願は可能か。

後期日程で実施する法学部を除き、推薦・AO入試の別なく学部・学科間の併願はできません。

3. 提出書類について

- ① 法学部において、調査書に順位を書くように指示があるが、学科（コース）ごとでよいのか。

学科（コース）ごとに書いてください。

- ② 法学部のセンター成績請求票は、後期日程か、AO入試か。

国公立大学後期日程試験用の成績請求票を使用してください。

- ③ 浪人生の学業活動報告書は、担任がいない場合は責任を持って記載できないが、どうすればよいか。

学校に保存されている指導要録等における記載事項や、可能であれば志願者への聞き取りによって、箇条書きで事実のみを記入してください。
特に、理学部においては、数学及び数理学に関する特記事項を、指導要録等に記載されている事項や志願者への聞き取りによって、箇条書きで事実のみを記入してください。

- ④ 学びの設計書は志望理由書と同じようなものと考えてよいか。

大学への志望理由だけでなく、高等学校での学習から卒業後の進路まで含んだ、高等学校、大学、社会人までをつなぐ設計書として考えてください。

- ⑤ 学年の順位を出していない場合どうするのか。

お手数ですが、学年(学科・コース)の順位を改めて出していただくようお願いします。

4. 選抜方法について

- ① 文・経・農学部は、第1次選考不合格者に対して、時間をかけて作成させた提出書類を一切見ないのか。

【文学部】(第1次選考不合格者の)書類は見ません。第1次選考でセンター試験の成績のみで判定するのは、基礎学力を重視するからです。それを前提にして、第2次選考では学力とともに学びへの意欲を問います。

【経済学部】選考における提出書類の配点が大きくなく、第2次選考では第1次選考で基礎的学力が確認できたものを対象に行う予定ですので、第1次選考では提出書類の審査は予定していません。

【農学部】第1次選考で書類を確認する予定です。

以上